十一月（霜月　November）

高野長英記念館の風景

決意

　先月三十日は　高野長英の命日にあたります　今年も高野長英顕彰会による　高野長英先生墓前祭が執り行われました　長英は自らの強みであるオランダ語の翻訳力を生かし数々の著訳書を手がけました　当時の最新の科学を理解し　医学のみならず　兵学・天文学・土木測量術など数々の分野でその実力を発揮した生涯でした　ドイツ強制収容所の体験記録を著した V.E.フランクル　その手記によると、「生きる」とは　「自らの人生にふりかかることに責任を持って対応すること　解決すること」としています

　来年こそは　長英先生の墓前で　しっかりと「生きています」と伝えられるように精進しようと決意をあらたにしました

【撮影：10月29・31日】















